



自然を守り、引き継いでいくこと

本校、浦和学院高等学校は、自然の時代、溜池の時代、田圃の時代と先人より大切に守られてきた見沼田圃の地に隣接しています。見沼田圃は、「首都近郊に残された数少ない大規模緑地空間」、「具体的な施策実施の緊急性の高い地域」であることから、自然・歴史・文化を市民のかけがえのない環境資産として後世に伝えるため、国、埼玉県、さいたま市の取組が進められています。そして、見沼田圃は県民が主体となって進める「さいたま緑のトラスト運動」の1号地が取得された地でもあります。

優れた自然や貴重な歴史的環境を、県民共有の財産として末永く保全していく緑のトラスト運動は、地球温暖化の進行とともに、それを防ぐ有効な手段として注目を浴び、多様な生態系の維持とともに、洪水や土砂崩れなどの災害の防止がさらに期待されるようになりました。この活動は関係各位の調査研究、日々の手入れ、観察会の開催、様々な事務作業等に支えられていることは皆様ご存じのとおりですが、更なる推進には、自然を守り、引き継いでいく新たな人材を育成していくことが不可欠と考えます。

平成4年度から高等学校では新学習指導要領が実施

となりました。そして、その大きな変更点として「探究型学習」を重点的に置いた学習があります。「自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力」を育成することを目標に、「実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立てること」が求められています。地球温暖化の防止、まさに実社会や実生活と自己との関わりを問われる事項であり、課題解決のための資質・能力の育成が期待されていると言えましょう。

本校に隣接する見沼田圃は、生活者である生徒が社会の一員として「守る」ことが期待されており、学習者である生徒が先人、そして今を支える皆様から「学ぶ」べき内容であり、未来を支える者としての生徒が「引き継ぐ」場でもあるとするなら、本校の様々な教育活動を通じて見沼田圃そして、それに関わる皆様との交流を推進していくことがその役割と考えます。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人 明星学園 浦和学院高等学校
教頭 三上 幸子
(緑のボランティアセミナー 講師)

イベントのお知らせ

会員の集い

11月12日(土)

場所 埼玉会館 2F ラウンジ
(さいたま市浦和区高砂3-1-4
JR浦和駅西口から徒歩6分)



協会員 無料

申込 締切11/4 (金) までに、電話で協会事務局までお申込みください。

- ▶ 9:30~10:30
講義「埼玉の自然は何処へ向かおうとしているのか」
副理事長 牧野 彰吾
(NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団代表理事)
- ▶ 10:40~11:40
講義「見沼田んぼでの保全活動」
NPO 法人エコ・エコ
代表理事 加倉井 憲一
- ▶ 13:20~14:50
講話「(仮題) 持続可能な社会での森の役割」
理事長 太田 猛彦 (東京大学名誉教授)

交流会は新型コロナウイルス感染症予防の為、中止します。

大人のクラフト工作教室

クリスマスリース 11月16日(水) 201号室
9時30分~11時30分

竹細工 11月30日(水) 104号室
9時30分~12時

場所 埼玉教育会館
さいたま市浦和区高砂 3-12-24



協会員 無料
一般 クリスマスリース 800円
竹細工 500円

各教室10人申込順 締切11/9(水)

対象 15歳以上



トラスト7号地と綾瀬川周辺の冬鳥を探そう

11月27日(日) 9時~12時
(雨天中止)

集合場所 下記の2つから選択

- ① JR宇都宮線「蓮田駅」東口 8時30分
- ② 小川原家屋敷林(トラスト7号地) 9時
①は徒歩で現地まで移動します。(徒歩約20~25分)

協会員 無料 **一般** 300円 20人申込順 締切11/22(火)

▶ カモ類をはじめ、大陸から日本に渡ってきた冬鳥が見られます。



竹の伐採体験

12月3日(土) 9時~12時
(雨天中止)

無料

集合場所 見沼田圃周辺斜面林(トラスト1号地)
あずまや

10人申込順 締切11/29(火)

▶ 伐採した竹は持ち帰りできます。



ミニ門松作り

12月18日(日) 10時~12時

集合場所 サンアメニティ北本キャンプフィールド
(北本市野外活動センター)

協会員 無料 **一般** 800円

20人申込順 締切12/13(火)

▶ ご自宅で飾れるミニ門松を作ります。(お1人様1基)



【対象】 中学生以上。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】 <共通> 筆記用具、水筒、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴で御参加ください。

<自然・野鳥観察会> 双眼鏡、図鑑などの観察用具、雨具、帽子

<保全活動> 軍手、作業靴、帽子 <クラフト工作> 軍手

【申込】 トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら→



各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。



小さいながらも多様な森



県内14ヶ所のトラスト地の平均面積は約5hほど。2号地(3.4h)はその平均よりひと回りほど小さいのですが、最高と最低標高地点の差が30m、起伏と変化に富んだ豊かな森となっています。

まず、当トラスト地の北東部の住宅地近くの森では珍しい湧水地があり、そこから流れ出した水流が下流で湿地を形成しており、湿地西側の斜面林との間をヒキガエルやアカガエルが元気に往来しています。また、そこをひと山越えするとあずま屋のある平地林、散策路を挟んで西側には竹林もあります。トラスト地北側の堀口天満宮近くの尾根沿いは風通しのよい雑木林でキンラン、サイハイラン、コウヤボウキも見事です。そして最後は県内のトラスト地としては唯一の茶畑。2号地になる以前からかつての地主さんの耕していた茶畑を我々もそこに手入れし、毎年八十八夜の頃には茶摘み会を行っています。こうした、小さいながらも見どころ、歩きどころ満載の2号地に一度はお越しあれ!

2号地代表 佐藤 善治

トラスト 昆虫 11

チョウ目 ヤママユガ科 ウスタビガ (Rhodinia fugax)

晩秋に羽化するウスタビガは、ヤマユガ科の大型のガです。成虫を見る機会はまれですが、冬の雑木林で鮮やかな緑の繭を見た方は多いでしょう。夏に羽化するヤマユガの繭が色あせた緑色なのに対し、晩秋に織られた新緑色の繭は美しく、目立ちます。

私は冬枯れた雑木林で両種の繭(羽化後)を探します。ヤマユガの繭はコナラ・クヌギ林で見つかりますが、ウスタビガのはこの他にヤナギ科、バラ科など多くの樹種に付いています。以前はたくさん見つけましたが、だんだん減っているのが心配です。

拾った繭は持ち帰って、自然観察会で見せたりしていますが、以前、ビニール袋に入れて机にしまったままにしていた繭を翌春に見つけてビックリ! 何故かハチでいっぱい。ヒメバチに寄生された繭だったので。小さなオス40匹とメス19匹、こんなに寄生していたなんてさすが大型ガ。

(自然観察指導員・大石 章)



ウスタビガ



繭から出てきたハチ



大石 章

4号地代表。小学校の担任の先生からチョウを教えてもらって昆虫好きに。自然観察指導員として自然観察会のガイドを務める。

第23回 **さいたま緑のトラスト**
写真・動画コンクール

作品募集

応募期間
 令和4年
12/2

賞金総額
 100,000円
 50,000円
 10,000円
 5,000円
 3,000円

応募方法
 1. 写真・動画の撮影
 2. 応募作品のアップロード
 3. 審査
 4. 発表

お問い合わせ
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
 電話 ▶ 048(824)3661 ファックス ▶ 048(832)0292
 ホームページ ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>
 メール ▶ main@saitama-greenerytrust.com
 当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。
 詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

第23回 さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール作品募集

埼玉県には、武蔵野の面影を残す雑木林や見沼田圃のような首都圏にあって潤いとゆとりのある空間が数多く残っています。県では、こうした優れた自然や貴重な歴史的環境を末永く保全し、次世代に残していくため、さいたま緑のトラスト運動を推進しています。

この運動をより多くの県民の皆さまに知っていただき、緑への理解と関心を深めるため、「第23回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール」を開催します。

写真は、Instagramからでも「#緑のトラストフォト2022」を付けて投稿すれば応募していただけます！

皆さまが次世代に残したいと思う緑豊かな自然を写真や動画を通じてシェアしませんか？

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/22trust.html>



報告

竹・木工クラフト作り(トラスト8号地)

令和4年8月21日(日)、トラスト8号地のボランティアスタッフが、サンアメニティ北本キャンプフィールドにて「竹・木工クラフト作り」を実施しました。参加者は20名。ボランティアスタッフの皆さんは、朝9時から各材料パーツをテーブルに準備し、参加者の方々には、数珠玉アクセサリ、竹のスコップ、ぽっくりさん、紙鉄砲、ガリガリトンボを作り、楽しんでいただきました。



毒キノコのカエントケ(火炎茸)にご注意!

カエントケ(火炎茸)は、燃える火炎のような形をした猛烈な毒をもつ毒キノコです。

埼玉県内のトラスト地でも発見したという報告がありました。

表面はオレンジ色から赤色で、細長い円柱状または棒状です。土から手の指が出ているように群生または単生し、数センチから20数センチメートルまで成長します。

ミズナラやコナラの根際や、ナラ枯れした立ち木の周辺等で発生します。誤って食べてしまうと死に至る可能性があります。また、触れたことにより、皮膚の炎症を引き起こす場合もありますので、見つけても絶対に触れないでください。くれぐれもご注意ください。



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者
 (10万円以上、令和4年6月から令和4年8月)

- | | |
|-----------|------------|
| 和光建設株式会社 | 那須興産株式会社 |
| ダイワ包材株式会社 | さいたま農業協同組合 |
| 株式会社 マツナガ | 他匿名希望1個人 |
| 株式会社 ホレスト | [敬称略] |



新しく会員になられた方々
 (令和4年6月から令和4年8月)

- | | |
|-----------------|-------|
| 【個人】14人(うち永年1人) | [敬称略] |
| 【家族】1家族(3人) | [敬称略] |
| 【法人】1法人 | [敬称略] |



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者
 (5万円以上、令和4年6月から令和4年8月)

- | | | |
|-----------|----------|-------|
| 全国陶器市振興組合 | KDDI株式会社 | [敬称略] |
|-----------|----------|-------|

<会員数(8月末現在)> 1,448人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
 電話 ▶ 048(824)3661 ファックス ▶ 048(832)0292
 ホームページ ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>
 メール ▶ main@saitama-greenerytrust.com
 当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。
 詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

会費年額

個人	大人 1人	1,500円
	小・中・高校生 1人	1,000円
家族	永年(一括納入) 1人	15,000円
法人	1家族	3,000円
	1口	10,000円



トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。